

医療法人有心会 池田循環器科内科

住 所:南島原市有家町山川347-1

院長 池田 重成

電 話:0957-82-0993

日頃より公立小浜温泉病院の皆さまには大変お世話になっております。

当院は島原半島の南端の有家町に位置し、平成3年1月10日に普賢岳が噴火した直後に開業しました。早いもので30年余りを経過しました。その間、高血圧症や虚血性心臓病といった循環器疾患を中心に診療してまいりましたが、この地域は患者さんの高齢化が急激に進んだため認知症や脳血管疾患の占める割合が増えてまいりました。それにともない当院でもグループホームやデイサービスといった介護施設を併設し、地域のニーズに合った業務を行っています。また、開業当時は医療病床19床の有床診療所から始めましたが、徐々に、高齢者の長期入院者が多くなり、現在は医療病床2床、小規模老健施設病床17床となっており、患者さんが急変した際には、公立小浜温泉病院にもお世話になっております。

最近では外来リハビリテーションにも力を入れており、素麺製造業や農業従事者などで、足腰肩を痛めている方が南島原市はもとより島原市、雲仙市からも通院されています。

これからも地域及び時代のニーズに合った医療、介護業務を行っていきたく思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。



ジャカランダ



新年の御挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年は当院にとりまして、他の病院と同様に新型コロナウイルス感染症の治療中心となった1年でした。コロナ対応の全ての皆様に感謝いたします。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の終息にはまだ時間がかかりそうですが、地域医療を守るため、収束に向かうよう今後も継続してワクチン接種を行って参りたいと思います。

さて、当院では昨年2人の先生方に新たに仲間に加わっていただきました。脳神経外科医の野田先生と一般外科医の扇玉先生です。扇玉先生は、在宅訪問診療を希望され、これまで津田先生1人体制から2人体制となります。これにより当院の訪問診療体制を強化し、患者様が住み慣れた自宅で安心して過ごせるよう進めて参りたいと思いますし、

引いては地域医療の推進に貢献できればと願っております。

また、地域柄、高齢者の脳血管障害者が多いことから、野田先生の入職により、地域脳卒中センターとしての役割を果たして参りたいと考えております。

昨年の世相を表す言葉は「戦」でした。コロナ感染という不安定な世界情勢の中にあって、ロシアのウクライナ侵攻にはじまり、円安と良いニュースはあまりありませんでした。しかし、年末のサッカーW杯では日本はもう一歩のところでしたが、多くの人に勇気と感動を与え、頑張ったと思います。

個人的に昨年は私は年男でしたが、恙なく過ぎ、今年は卯の年です。

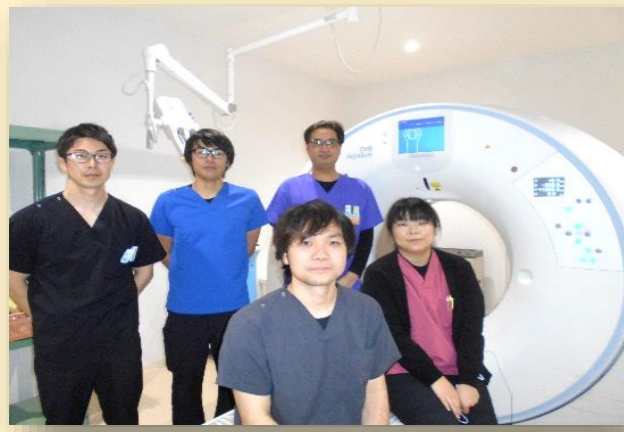
幼稚園で因幡の白兔の劇をしたのを思い出しました。先生から、「何事にも嘘をつかないで、うぬぼれないで生活しましょう」と諭されたような遠い記憶が蘇って来ました。

「眼の前のどんな仕事に対しても、いつも謙虚で真摯に向き合う」との思いで、今年も1日1日を大切に邁進して参りたいと思います。



目次 Contents

- | | |
|-------------|-------------|
| ・新年の御挨拶 | ・・・院長 井手 孝 |
| ・脳神経外科案内 | ・・・野田 満医師 |
| ・NEWS | ・・・脳卒中研修会 |
| ・連携医療機関のご紹介 | ・・・池田循環器科内科 |



私たちが撮影させていただきます。
ご不明な点等ございましたら、
お気軽にお尋ねください。

前列左から:寺園技師 時津技師
後列左から:柴田技師 松井主任 今村技師長



CT検査装置(上)

検査機器種:
320列マルチスライス

MRI検査装置(左)

磁場強度:1.5テスラ

NEWS

脳卒中研修会

日時:令和4年11月10日

講師:脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
相良 和徳氏(島原病院 勤務)

4月から脳神経外科 野田満医師が入職され、当院でも脳梗塞を発症した患者さん(発症後4.5時間以内)を対象としたt-PA療法(血栓溶解療法)ができるようになりました。この治療は、発症後4.5時間以内に血栓を溶かす点滴を行うことで、脳梗塞を起こしている血栓が溶かされ、麻痺状態などが改善することが期待されています。しかし、副作用として全身が出血しやすくなるため、脳出血を起こし麻痺が悪化してしまうこともあります。当院では、外来と急性期病棟の看護師を対象として、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 相良和徳講師をお迎えし、6月と11月の2回にわたりt-PA療法についての講義と治療内容、意識や麻痺を評価する方法についての研修会を開催いたしました。実際に手技や声掛けの仕方などを指導していただき、大変充実した研修会でした。今後、対象の患者さんが来院された際にも、安全かつスムーズに対応できるよう知識やスキルを磨いていきたいと思っております。 急性期病棟主任 永野 誠



脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
相良 和徳氏による講義・手技実践(下)



脳神経外科ってどのような症状の時に受診したらいいですか？

脳神経外科 野田 満先生に聞きました



脳の病気といって、まず思い浮かぶのは脳梗塞や脳出血といった脳卒中だと思います。

2025年問題にもあるように、これからの超高齢化社会になると脳卒中の割合はますます増加することが予想されます。はじめは小さな症状だったとしても、そのままにすることで取り返しのつかない大きな症状になってしまうことがあります。

頭が痛い・めまいがする・手や足がしびれる・しゃべりにくい・ふらふらする・目が回る・もの忘れが目立つなど、よくある症状にも重大な脳の病気が潜んでいることがあります。特に脳卒中の治療では、早期発見・早期治療が不可欠です。当院ではCTやMRIといった専門的検査をいつでも行うことができますので、不安があればお気軽にご相談ください。 **脳卒中はある程度予防ができる病気です。**

脳卒中にならないため、ひいてはこれからの健康維持のための予防医学の面でもサポートしていきたいと考えています。



脳卒中・脳動脈瘤・一過性脳虚血発作

ろれつが回らない、言葉が出ない・言葉の理解ができない、手足顔の感覚がおかしい



頭痛

突然の激しい頭痛、頭痛薬が効かず日常生活ができない頭痛に悩んでいる



頭部外傷

頭や顔を切った、頭を何かにつけた後、吐き気や気分が悪く頭の中が心配



もの忘れ・認知症

最近もの忘れが気になる、道に迷うことがある、出来た事が出来なくなった



めまい・ふらつき

ふわふわ浮いた感じで座っていてもふらついたり、立ちくらみやめまいがする



しびれ、脳機能疾患(ふるえ・痛み)

意思に関係なく手足が震えたり、ジンジン・ビリビリしびれる、物が二重に見える

野田 満 医師 紹介

■ 資格

日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医

■ 所属学会

日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会

■ 外来担当日

月曜日 午後診療
火曜日 午前診療
水曜日 午前診療